

令和6年度

岐阜県 PTA フォーラム可茂地区大会実施要項

- 開催日 令和6年11月9日(土)
- 場所 可児市文化創造センター ala
- テーマ **みんなが幸せになるために**



■ テーマに込められた願い

今、世界は、日本は、社会は大きく変わってきています。そんな中で価値観も多様化し、興味関心が人それぞれの方向を向いてしまっていて、人と人とのつながりが何となく希薄になっているように感じます。こんな時代だからこそ、人とつながって楽しいと幸福感が味わえるような人間らしい生き方ができたら…と、感じています。

私たちにとって子どもは大切な存在です。

それぞれ個々でがんばることは限界がありますよね、保護者、教職員、地域住民、学校、そして子どもたちを中心に、年代、世代を越えてみんなつながる…

みんなで子どもたちの幸せを願い、できることを行動していけたら…。

そんな可能性を込めて、可茂地区は「みんなが幸せになるために」と、スローガンを掲げて「ツナガル」ことのひとつのカタチをイメージできるような大会にチャレンジするとともに、岐阜県全体に私たちの思いを発信していきます。

■この大会には、次の特徴をもたせます

- 講演会を実施せず、全員参加型の大会を目指します
- 親子、教職員、地域住民等誰もが気軽に参加できるようにします
- ワークショップを実施。可茂地区を中心とした特色ある産業・文化を中心とした体験ができるようにします
- つながる会を通して、共感・共有しあえる時間をつくります
- 各単位 PTA から分担金を集めません

<大会スケジュール>

	12:35	13:00	13:10	14:40	15:00	16:00
10:00	アトラクション ①	オープニング	主劇場:第1分科会 小劇場:第2分科会	アトラクション ②	主劇場 ツナガル会 パネルディスカッション 次回予告	
ワークショップ・マルシェ (ホワイエ) (屋外)						

予定：アトラクション①（よさこい半布里） アトラクション②（読み聞かせ・合唱）

パネルディスカッションテーマ：これからのPTAって何だろう

これからの公教育において、子どもを囲んで大人はどうつながる？

どうつながることが、みんなが幸せでいられるのか？

- **オープニング**
 - ・ 2会場，サテライト方式
 - ・ 挨拶は，県 PTA 会長と実行委員長のみ
 - ・ 来賓は，4地区教育長（会長），事務所長，県教委とし，挨拶はなし（ステージ上に席を設けない）
- **ワークショップとマルシェ**
 - ・ PTA 会員に限らず，おとなも子どもと一緒に楽しめるものを行う
 - ・ ホワイエ（廊下）で長机を置いて実施
 - ・ それぞれのブースごとにスタート時刻や体験時間を設定する
 - ・ マルシェを開催する（飲食・雑貨等）
- **ツナガル会**
 - ・ パネルディスカッションを実施
 - ・ ステージと会場の皆さんをつなぎ，互いに共感・共有しあえる時間にする
- **アトラクション**
 - ・ 地域や小中学校のつながりを感じられるものにする
 - ・ オープニング前と分科会終了後の2回，主劇場で実施する



ア－ラ：主劇場客席

■ 分科会発表校と発表概要

	発表PTA	テーマ・発表内容
第1分科会	恵那市立 飯地小学校 PTA	<p>持続可能なPTAの在り方について ～飯地小学校開校150周年記念事業を通して～</p> <p>恵那市の山間部にあるへき地・複式学級の小規模校。本当に少ない会員でPTA活動を進めていますが、会員は協力的で充実したPTA活動を展開しています。しかし、これから先のPTA活動の継続や充実を願うと、持続可能なPTAの在り方を探っていく必要を感じます。</p> <p>少数の会員での活動の在り方を見直し、開校150周年記念の事業に取り組み、地域と共に歩んでいる当校PTAの活動について発表します。</p>
	可児市立 桜ヶ丘小学校 PTA	<p>みんな笑顔 みんな幸せをめざして ～ボランティアに支えらえる桜ヶ丘小 PTA～</p> <p>未来の創り手となる子どもたちのために、令和6年度、何ができるのかを考えてきた結果、地域・家庭・学校がめざすビジョンを共有していこうということになりました。</p> <p>さらに、「大人がわくわく、楽しみながら活動していこう」「本当に必要なことを見極めよう」「無理するのではなく、みんなで助け合いながら笑顔と幸せな PTA をつくっていこう」と取り組んできたこれまでの歩みを発表します。</p>
	各務原市 PTA連合会	<p>全ての大人が全ての子供を育てる社会に向けて</p> <p>昨今の様々なPTA改革が進む中、会員の負担感や閉塞感を打破し皆が積極的に楽しくPTA活動を行うためには、連合会と単Pはどのような繋がりを構築し、ともに歩んでいくのが望ましいのか。</p> <p>学校区やPTA会員資格の有無を越え、全ての大人が全ての子どもを育てる社会の実現を夢見る我々の組織づくりと活動を発表します。</p> <p>役員決めや、運営の方法などでお悩みの方。必見です。</p>
第2分科会	高山市立 中山中学校 PTA	<p>親子で取り組む情報機器の活用 ～誰もが安心して幸せに生活できる中山中を創造する～</p> <p>親と生徒がネットや SNS などの利便性と危険性について知識を深め、安心して ICT 機器を使用できるルールや環境の構築を目指して取り組みました。</p> <p>保護者アンケート、親子で ICT 機器の使用ルールについて話し合うための資料提供、生徒会や議会生徒と PTA 実行委員会による座談会、家庭の日に合わせた「中山中親子で観る情報通信モラル」の発行、警察署による生徒向け SNS 講話など、実施した活動内容について研究発表します。</p>
	岐阜市立 明郷小学校 PTA	<p>コロナ自粛後のPTA行事の在り方と、開かれたPTA活動の為に</p> <p>開かれた PTA 活動を今後も行っていくために、コロナ自粛前に行っていた行事の規模や内容の精査、PTA 役員や委員以外の積極的なボランティア参加募集の効果と影響、周知方法として、紙面以外のツールを使用した、効果の検証を行いました。</p> <p>そしてこれらを通して、今後、PTA組織に頼らなくとも運用できる仕組みの可能性や、PTA役員の恒常的な担い手不足の解消策について提案をします。</p>
	海津市立 海津小学校 PTA	<p>学校統合をきっかけにした新たなPTA組織への試み</p> <p>令和6年4月。5校統合により海津小学校が新たに誕生しました。学校統合の1年以上前から、各学校のPTA代表や学校関係者が集まり、新しいPTA組織の在り方や活動内容について何度も検討を続けてきました。令和6年度は、「できる時に、できる人が、無理なく、楽しく」をスローガンに、誰もが気軽に参加・活動ができる新しいPTA組織の誕生に向けて歩みを進めています。</p> <p>「子どもたちのために」という原点に返りながら、まずはPTAのイメージを大きく変えていこうと模索してきた取り組みや経緯について発表します。</p>